

# 家庭科だより

## 中学3年生の被服実習では「カラフル刺し子フリークロス」を製作しました。

実習では、「カラフル刺し子フリークロス」の製作を通して、基本的な手縫いの技法、玉結び・玉止め・並み縫い・針の使い方などを学びます。日本の伝統文化である刺し子柄には、それぞれ由来や込められた願いなどがあります。それらを参考に、ベースとなる図案を選びデザインを完成させます。なるべく1本のラインごとに刺すと、糸を切らずに済みますので、決めたデザインに合わせて、どの線を縫うか確認し、縫う順番を考えながら、刺し子をします。

生徒たちは、最初、玉結びや玉止めを忘れてしまい、教科書を見ながら確認をしていましたが、コツをつかむと、あっという間に縫い進めて作品を完成させていました。また、無心に刺し子を刺し、布一面を刺し子柄に仕上げている生徒など、とても丁寧に製作している生徒が多くみられました。



### 刺し子柄



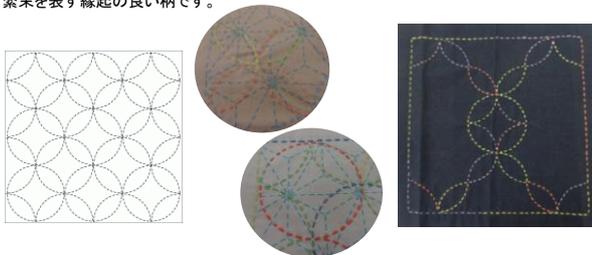
#### 青海波(せいがいは)

海がもたらす恩恵を、波の形で表した模様です。無限に広がる波に、未来永劫へと続く幸せと、人々の平安な暮らしへの願いを込めた縁起の良い柄です。



#### 七宝つなぎ(しっぽうつなぎ)

七宝は、七種の宝(仏教の経典に登場する金、銀、珊瑚、瑪瑙、瑠璃、玻璃、シャコという七珍が由来)のことです。それらの輪(和)が四方に無限に繋がることから、平和や円満、子孫繁栄を表す縁起の良い柄です。



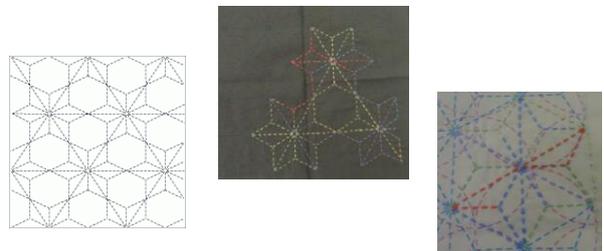
#### 矢羽根(やばね)

矢羽根は矢の上部につける鳥の羽根のことです。的に当たること、幸せを求めて飛んでほしいということから、縁起物とされる模様です。また、「破魔矢」に由来して、魔を祓(はら)う意味も込められています。

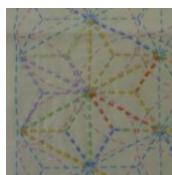


#### 麻の葉(あさは)

麻の葉をモチーフにした模様です。麻の葉は成長が早く丈夫なことから、子どもの健やかな成長を願って古くから赤ちゃんの産着や子どもに着せる服の柄にも取り入れられてきました。



### 作品



#### 編集後記

刺し子の授業は、黙々と針を刺し、作品は、デザインや色の入れ方など工夫されていて、素晴らしい作品がたくさん出来上がりました。刺し子柄は、日本を代表とする和柄です。来年、開催されるオリンピックの影響もあり、色々なところで和柄が使用されていますので、探してみてくださいね。  
「カラフル刺し子フリークロス」のプリント線は、洗うと消えますので作品をぬるま湯に浸して、インクが溶けたら水洗いをしてから、使用してくださいね。

